

柵津地域づくりの会

会報 No.3

第2回「柵津地域づくりの会」総会開催 事業計画・予算(案)承認される iii

去る四月二十一日(火)、柵津地域づくりの会(山越淳一会長)の定期総会が花岡東御市長、塩川信州うえだ農協常務理事、柵津地区出身議員の来賓に出席を頂いた中開催されました。当日七〇名の出席を受けて、第一号議案、「平成二十六年事業報告・決算報告の承認について」、

第二号議案、「平成二十七年事業計画、予算案の承認について」、

第三号議案、「役員・幹事の一部変更の承認について」上程され、いずれも過半数を越す賛成を受けて承認されました。柵津地区活性化研究委員会でやってきた事業を各部会で継承して活動し、新たに「柵津地域創生ビジョン」の策定を市の補助金を受けて、行い



ます。作成に当たっては地域の皆様のご意見・ご協力をお願いします。

子ども会育成連絡協議会 総会開催

四月二十三日午後七時、柵津公民館似於いで九十名余の皆さんが出席して行われました。平成二十七年事業計画・予算、役員改選の承認等が審議、承認されました。年間事業として、

- ☆柵津小PTA講演会(五月)
 - ☆市子どもフェスティバル(五月)
 - ☆柵津っ子フェスティバル(六月)
 - ☆ミニ駅伝大会(十月)
- 等が計画されています。



柗津地区・まちづくり懇談会が 開催されました

五月十三日(水)柗津公民館において「まちづくり懇談会が東御市と柗津地区区長会の主催で開催されました。これは市政に対する意見、要望などを聴取することと共に、当面する主要課題についての理解を深め、市の活性化を図ることを目的に、市民と話し合いが行われました。

七十名余の皆様が出席され、御堂地区荒廢農地をワイン用ブドウ畑化する計画や、少子高齢化に起因する農業後継者不足、人口減少、荒廢農地、空き家等の問題、災害対策、ゴミの不法投棄等について意見交換が行われました。

行政も最大限の対応は行うが、地域住民の協力なしでは解決できない問題については住民も協力していかなければと認識しました。

◆柗津誌、方言カルタ販売

◆幻の味、「柗津せんべい」復活

◆蘇る晩霞作 柗津十二景、無料配布

今年も東町歌舞伎保存会の皆様による東町歌舞伎定期講演(四月二十九日)が行われた中、柗津誌と柗津方言カルタの販売を行います。

した。

隣のブースでは柗津せんべい本家、旧湊屋の現頭首、柳沢昭司さんと、東御市生涯学習課の佐藤氏のお二人により、柗津せんべいが四十数年ぶりに、一千枚近くが焼かれて無料配布されました。柗津せんべいの浮き彫りになっている十二種類の図柄は丸山晩霞が旧湊屋商店(故)柳沢保豊氏に柗津の名産を作ろうと持ちかけて晩夏自身がデザインし金型が作られたそうです。原材料のレシピは秘密だそうです。四十数年前の素朴な味と共に、バス停の前のお店で、金型を使って煎餅を焼いている保豊氏の姿が懐かしく思い出されました。

※せんべいの金型は現在丸山晩霞美術館に展示されています。



- ①山稜宮嶽の秋月
- ②湯の丸山スキー
- ③奈良原鉱泉の雲雀
- ④烏岳の鈴蘭
- ⑤金井河原の虫聲

- ⑥御姫苑の紅葉
- ⑦柗津鉱泉の御湯
- ⑧神樹榎の木の雪
- ⑨長命寺前の垂桜
- ⑩大日苑の晩鐘
- ⑪臨川山の春雨
- ⑫七都石社の涼風、以上

ハヤシミドリシジミ放蝶

四月から柗津小学校で卵から飼育していたハヤシミドリシジミがサナギから成虫となり、六月十日(水)城山に放たれました。

講師の東御市教育次長の清水敏道さんの指導の下、三年生四八名は柗津城山の柏林の五合目付近に行き小学校から飼育ケースに入れてもってきた、ハヤシミドリシジミをはなしました。

柗津地域づくりの会では山越淳一会長、別府英宣教育文化部長、他数名が支援協力参加しました。ハヤシミドリシジミのピンバッチも柗津地域づくりの会で購入し、生徒に配布することになりました。



ハヤシミドリシジミと卵



ハヤシミドリシジミ
を放蝶する3年生



★地域創生ビジョン策定の

取り組み始まる

★**柛津地区の将来像の意見募集中!**
(柛津公民館内・地域づくり事務局へ)

日本は現在、人口減少傾向が続き二〇五〇年には9700万人程度になってしまうと懸念されています。また地方において人口減少はより顕著で、特に若い世代の都会への人口流出が地方の人口減少に拍車をかけています。また全国に6063万戸の住宅がある中、

その内の820万戸(13.5%)が空き家となつています。何もしないで手をこまねいていると、地方の人口減少は地方経済の衰退を招き、更にそれが人口減少を加速させるという負のスパイラル(悪循環)に陥るリスクをはらんでいます。また地方の衰退状況は、都市部まで波及していき、最終的には日本全土が衰退してしまうと危ぶまれています。これらの主原因は国策の将来の見誤り、核家族化思想等、いろいろ々々考えられる訳ですが、我々自身も手をこまねいているだけでなく、自分たちで出来る部分は地域の力を出し合つて、また必要があれば、行政と協力したり、訴えかけたりしてこの窮状を打開していかなければならない状況にきています。

当、「柛津地域づくりの会」でも柛津地区独自の地域創生ビジョンを策定することになりました。柛津地区のより広い分野からの皆様に参加いただき、柛津地区の皆さんが望む将来像とその実現に向けた活動、対策について今年の5月から地域創生ビジョン素案作成委員会を設定し取り組んでいます。また小学生、PTA、からアンケートをいただき、更に各区長、及び支区長からもアンケートをいただく予定でいますのでご協力を宜しくお願いいたします。一般のご意見も柛津公民館内地域づくり事務局(小山)で受け付けてます。

戊の満水講演会のお知らせ

日時 8月2日(日)午後一時半～
場所 柛津公民館2階講堂

講演 午後一時三〇分～三時

講師 青木隆幸氏

(県立歴史博物館文献資料課)

講師 小菅 毅氏

(東御市教育課気象予報士)

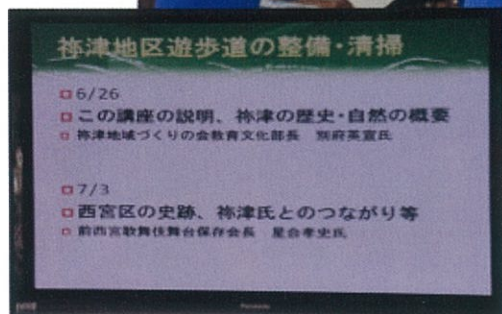
質疑応答・・・若干

戊の満水は一七四二年(寛保二年)に千曲川流域(東北信一带)に発生した大洪水で、千曲川流域全体で約二八〇〇名の方が犠牲になり、東御市では所沢川で土石流が発生し、金井村と田中宿が流され、約二〇〇名の方がなくなりました。両地区は壊滅状況になり、現在地に移転して集落が新しく創られられました。現在ある八間石や柛津診療所辺りから中央グラウンド、常田にかけての雑木林(クヌギ林)のグリーンベルトはその傷跡です。ここ最近の地球温暖化による集中豪雨、大雪等の異常気象から自分たちが如何に対処して身を守っていくかについて、大変興味深く、参考になる講演です。

東部中学支援活動
ラブミー東御第一回歴史講座

六月二十六日午後、東部中学総合学習の中で行われている「らぶみー東御」第一回目の講座に別府英宣教育文化部長が東部中学校へ出かけて祢津全般の歴史講義をしてきました。

今年度は十九名の受講生がプロジェクターを使った講義を熱心に聴いていました。



第9回祢津城山桜祭り実施

4/18

城山桜祭りは晴天の下、花岡市長、桜井市議会議長、地元出身議員の三縄議員、蓮見議員、平林議員、西宮区長を来賓に迎え、百十余名のみなさんが参加されて行われました。



開会式の後、山頂へと桜並木の中を山頂に向かいました。山頂では二基の狼煙台に点火するセレモニーがおこなわれ、数分後には灰色の煙がもくもくと立ちのぼりました。

参加者全員に花見団子が配られ、皆さん団子を食べながら桜の花と二七〇度の展望を楽しんでいました。

